

乾眞規・中塩路登志夫の裏切りを許さない！

11月15日付けで本部に FAX で乾眞規・中塩路登志夫の「脱退届」が送られてきた。

「脱退届」には脱退理由が書かれておらず、直接尋ねても「話はしない」「話しすることはない」と言って理由を語ろうとはしない、語るべき理由が無いのかもしれないが！？

両名は今年の分会大会まで役員を担っていたが、役員を辞める理由として乾眞規は「親の介護」を語り、中塩路登志夫は「一身上の都合」としか語っていない。東海労や分会の方針や運動については何も語っていなかったのに脱退したのである！

今回の「脱退」は組合からの脱落であり無責任極まりないと言えようがない。

今まさに J R 総連から「組織破壊者」としてでっち上げられ「除名」されようとしている時に、労働者の権利と利益を守る運動を否定するために脱退することは裏切りでしかなく、J R 総連からの組織破壊攻撃に棹さず行為を絶対に許すことはできない。

そして乾眞規・中塩路登志夫は、一緒に脱退届を送りつけた他の脱退者と異なり「森下を支える」と話してはいない。もとより森下と親しかったわけではなく、「支える」とは言えなかったのだ。それでも「森下を支える」と表明している他の脱退者と行動を共にするのは全く不可解な行動であり、統一した「司令部」が存在すると言えられない。

私たち J R 東海労大阪車両所分会は、労働者の権利と利益を守るために、これからも内外からの組織破壊攻撃と闘う！